

第2章 建替方針の検討

I 施設整備の基本方針

本斎場の建替にあたり、施設整備の基本方針を以下のように設定します。

● 故人との別れの場所にふさわしい施設

- ・最後の別れと旅立ちの場としてふさわしい空間をしつらえ、利用者の心情に配慮した施設とします。
- ・将来の火葬需要や様々なニーズに対応できる施設とし、スムーズな利用やプライバシーの確保など、質の高いサービスを提供します。

● 飯盛霊園の豊かな自然と調和した施設

- ・高台の眺望を活かすとともに、四季折々の自然を取り入れる工夫を行い、利用者に心安らげる環境を提供します。
- ・立地環境や整備条件に見合った、斎場建物として魅力あるデザインをめざします。

● 地球環境に配慮した施設

- ・大気汚染物質の排出抑制や臭気対策など、高度な環境基準により周辺環境への配慮に努めます。
- ・公共施設として省エネルギーを積極的に推進し、環境にやさしい施設とします。

● 安全で誰もが安心して利用できる施設

- ・今後想定される地震災害に備えた耐震性能を持たせるとともに、災害時でも十分な機能を発揮できるなど、安全な施設づくりに努めます。
- ・ユニバーサルデザインの徹底とともに、衛生面への細かな配慮を行うなど、誰もが安心して利用できる施設とします。

● 将来対応に優れた施設

- ・長期的な利用を見据えた施設づくりにより、効率性や経済性に貢献します。
- ・日常的な保守管理のしやすさに配慮するとともに、将来的な修繕・更新にも対応できる施設とします。

II 施設整備の方向性

施設の老朽化及び狭あい化、火葬炉設備の老朽化による環境対策機能の不足、今後増加が予測される火葬需要への対応、災害時の機能維持など現状の課題及び施設整備の基本方針を踏まえて、本斎場は新施設を整備する必要があります。

なお、新斎場の整備は、現斎場を運用しながら同敷地内での建替を前提とするため、効率的な建替計画や、建設中の安全性の確保、騒音・振動などへの配慮が求められます。